

手作業で田植え体験

5年生25人が泥と格闘

古里の農業を支える稲作を体験しようと、石巻市前谷地小の5年生25人が29日、学校近くの水田約3㍎で田植えをした。

15年ほど前から指導する

農家の

さん(63)と

保護者がサポートし、苗を

を付けた。

真つすぐ等間隔に植えるための線引き作業から挑戦した。枠のような道具を2人

1組で押して転がし、目印

さんから「苗は3、4本ずつ」「根の部分だけを差し込むように植える」といった説明を受けた後、

児童は1列に並んで「ひとめぼれ」の苗を丁寧に植えた。泥に足を取られて「キヤー」と叫んでいた子も次第に慣れていき、その感触を楽しみながら作業していた。

君(10)は「泥

で足が重くなつて動きづらかったけれど、楽しかった」と語り、さん(10)は「ふつくらとしたおいしいお米に育つてほしい」と笑顔で話した。

さんは「田植えから

収穫までを体験することは、子どもたちの自信にも結びつくと思う」と述べた。

今後は総合学習の時間に稲を観察し、10月上旬に稲刈りを行う。収穫後はおにぎりにして味わう予定。



田植え前に線引きする児童たち